

	区分	人数	
1	通いの場に関するもの	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場があるにも関わらずが周知されていない。</li> <li>・担い手についても今後も養成し、ニーズに応じた地域とのマッチングが必要。</li> </ul>
2	周知方法のレベルアップに関するもの (レインボーネット/ パンフレットなど)	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場の情報提供についてケアマネジャーにも意見を聞いた。</li> <li>今までの情報提供の在り方について改善を図っている。</li> <li>HP・レインボーネットによる情報提供の他、紙ベースにおける情報提供についても取り組む。</li> <li>・フレイルに関する周知について、後期高齢者問診票に関して、医師会の協力を得た。(オーラルフレイル・身体的フレイル・社会的フレイルの対応についてアンケートを行った)</li> <li>令和5年度より、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施の事業を進めていく。</li> </ul>
3	高齢者のスマホ指導	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習課や、地域包括支援センターの取り組みについて紹介</li> </ul>
4	啓発活動の強化	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の啓発</li> <li>・かかりつけ医を持ってもらう等健康管理の意識付け</li> <li>・専門職としてできることを考えていく必要あり。</li> </ul>
5	地域活動の強化(生活支援、ボランティア活動含む)	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手不足の課題・担い手と地域活動のマッチング等</li> </ul>
6	見守りシステム(ゴミ・安否確認含む)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境課の取り組みを紹介。今後も情報提供していく。</li> </ul>
7	交通インフラへの提案	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル事業の結果から情報提供</li> <li>・きたバスの利用については今後も利便性等確認・検討が必要</li> </ul>
8	買い物支援	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物手段の情報提供については今後も工夫が必要</li> </ul>